

演奏会レポート

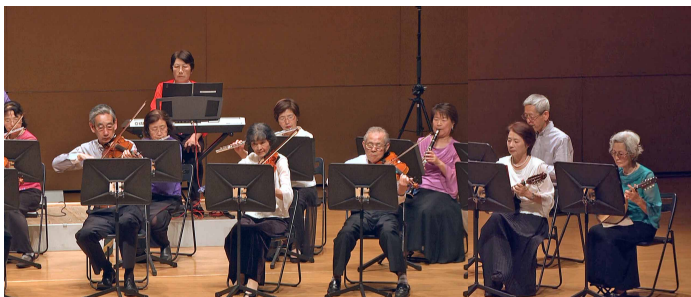
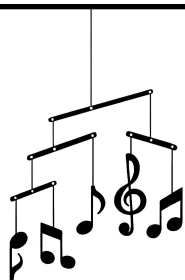
◆我孫子SE第6回定期演奏会 鑑賞日記

千葉SEそれいゆ 川野正彦

5月16日(土) 好天の中、我孫子シニアアンサンブルの第6回定期演奏会が催され、会場の我孫子けやきプラザふれあいホールに向向きました。大変な盛況で、入りきれなかったお客様が気色ばむような場面もあった中、演奏が始まりました。プログラムは第1部がクラシック及びタンゴ、第2部がポピュラーで計22曲。常任指揮者笹森先生のタクトで熱演の連続でした。第2部ではお客様と一緒に歌って頂く3曲があり、客席と舞台の一体化が最高潮に達したことが実感されました。KBを巧みに配した編曲により、弦と管のバランスが絶妙で、田園の1楽章では優しさ、のびやかさを見事に表現した演奏で聴衆を魅了し、シチリアーナではもの悲しさを絶妙な間で表現して聴く者をうならせ、バッハの重厚さをG線上のアリアで表し、出の管のリズムとハーモニーが出色であったくるみ割り人形行進曲で楽しませ、仮面舞踏会ワルツでは怪しげで靈感的な情景を聴かせ、管楽器の低音部をKBに担当させたフィンランディアでは、重厚な趣を余すところなく表現しました。また2部においては、高、中、低音の良くバランスのとれた演奏で聴く者を癒し、最後の6曲のポップ

スは力まず洒落な味わいで演奏会を締めくくりました。

流石に千葉県下の先輩格の演奏であるわいと眩きながら、終了後の軽い興奮に包まれて帰路につきました。



◆習志野SE第1回定期演奏会

千葉SEそれいゆ 横溝 敬

習志野シニアアンサンブル第1回定期演奏会が5月27日習志野市民会館ホールで行われました。私は当日応援として会場整理などを承りましたが、主として開場時間まで入り口で皆さんをご案内させて頂きました。会場の定員は364人で、今回は整理券を事前にお渡しし、整理券のない方の入場できませんというスタイルでした。20人くらいの方に満席ですと入場をお断りせざるを得ませんでした。大きな混乱もなく開場開演に至りました。1部と2部はモーツァルトの「交響曲25番」などのクラシック曲とタンゴ、ムード音楽、映画音楽などの演奏の後休憩をはさんで2部ではソプラノ歌手の歌、サクソ、尺八、フルート、ケーナなどの楽器のソロ演奏を楽しませていただきました。習志野シニアには芸達者な人が多いことに感服致しました。3部では「有楽町で逢いましょう」などの歌謡曲をみんなで合唱してプログラムを終了しました。アンコールの大合唱のなか、「丘を越えて」の合唱と歯切れにいい「エルチョクロ」の演奏で全てお開きとなりました。満足してお帰りになる皆さんの顔を拝見して、習志野シニアの音楽のレベルの高さとサービス精神のこもった当日の選曲の良さを感じた次第です。

